



体験学習3 ～1・2年生「生活科体験学習」～

1日、1・2年生がとてもとても楽しみにしていた、「干拓の里」へ体験学習に出かけました。出発前に、しっかり今日のめあて、持ち物を確認する姿が、とてもかわいらしく微笑ましかったです。スクールバスに乗り込む時には、しっかりあいさつができていて感心したところです。学習の目的（めあて）は以下の通りです。

①身近な生き物とふれあい、生き物の命の重みを感じる。

②目的地やバスの中での過ごし方など、マナーやルールを学ぶ。

③同学年、異学年の友達と仲良く活動し、明るく、楽しく過ごす。

でした。ご家庭で、子どもたちから、いろいろなお土産話を聞くことができましたでしょうか？

学校に戻った子どもたちに、インタビューしてみました。

Q.「体験学習で楽しかったことは何ですか？」

A. えさやりができたことです。

A. みんなでお弁当を食べたり、楽しく遊んだりしたことです。

Q.「びっくりしたことや勉強になったことがありますか？」

A. うさぎの毛はふわふわで、温かったです。

A. やぎの目のことがよく分かりました。

帰りのバスの中では、ぐっすり眠る子が多かったようです。このことから、今日1日がとても楽しかったことがよく分かります。今回の体験学習が、子ども

たちの成長につながるようにと、3名の担任は、入念な準備と計画、打ち合わせを行っていました。この後の学習のまとめが楽しみです。



ある日の出来事

夏野菜に続き、秋～冬に収穫できそうな「ブロッコリーの苗」を植えました。すると、低学年の子どもたちからは、「何を育てるのですか？」と質問が意欲的です。分きたい意欲が旺盛で、「ヒントください！！」と次々に質問攻めにあったので、「ブ」と頭文字を教えたり、「給食にも出るよ」と続けたりしましたが、なかなか思いつかないようです。すると、高学年の子が「ブロッコリーだよ」「葉っぱの形で分かるよ」と教えてくれました。これが経験の差です。「さすが！！」とついつい声が出ていました。

～校長室の窓から～

「トイレの話」を子どもたちにしました。理由は、2学期に入り、トイレの使い方、トイレでのいたずらが目立ったからです。その内容は次の通りです。

①トイレのスリッパが並んでいないこと。（次の人のことを考えていない）

②トイレのスリッパが、なぜか便器の中に入っていること。

③便器のふたや便器に、いたずらがしてあること。

④トイレの鍵がかけられたままで、中には誰もいないこと。



自分の家のトイレがそうなら、どう思うか？何もせずそのままにするのか？皆で使う場所は、どのようなことに気を付けるべきか…。などを話しました。

昔、仲良くしていた外国の方に、「日本の学校のトイレは本当にきれいだ。それは、子どもたちと先生方が、毎日掃除をしているからだ」と聞いたときは、誇らしい気持ちになったことを思い出しました。日本のよき伝統である、「次の人のために」「皆で使う場所は、皆できれいに」など、大切にしていきたいと思います。

